



子供は未来人

副校長 保土澤 尚教

三日間に渡る体育科学習発表会において、たくさんのご協力をいただきありがとうございました。観覧に関して、保護者の皆様には例年以上に様々なお願いをいたしました。大多数の方が観覧ルールを順守していただけたこと、大変ありがたかったです。子供たちも、充実感いっぱい各学年の種目をやり遂げることができました。ご家庭では、どんなことをお話しされたでしょうか。

行事の緊張感から解放された子供たちは、体調を崩しやすくなったり、普段できていることが疎かになったりすることがあります。また、一人一人の成長に伴って心も不安定になりやすい時期です。人間関係に変化が生じ、時には関係性がもつれたりすることもあります。学校では11月を「ふれあい月間」として、子供たち一人一人とのコミュニケーションを重視し、学校での取組を見つめ直すことで、生活のリズムを整え直していきます。ご家庭でも、早寝・早起き・朝ごはんの習慣を大切にしながら、子供たちを見守っていただければと思います。

さて、先日、各担任と情報共有した際に、1年生の体育で「難しい！」と満面の笑みで手と足の異なる動きでリズムを刻む子供の姿や、3年生の図工で「一番楽しい、難しいけれど。」と集中してピンボール型ゲームを制作する子供たちの様子を聞きました。どちらにも共通しているのは、難しい課題に取り組みながら楽しさを感じているということ。小学生の子供たちにとって、容易に解決できる課題は楽しさを実感しにくい。走り高跳びに例えるなら、子供が越えていけるバーの高さを、大人が安易に低く設定してはいけなさと再認識しました。

私が学級担任をしていた頃、国語の教科書に『子供は未来人-手塚漫画にこめられた願い-』（学校図書）という伝記が載っていました。その中に「子供は現代人であり未来人。」という手塚治虫の思いが書かれていたことを思い出します。子供たちは大人の姿を見つめながら、未来に向けて成長していきます。未来を生きる子供たちに対して、家庭、学校、地域で協働しどんな力を育てていく必要があるのか、今改めて考えさせられます。

これまで学校では、子供たちが小学生として…、中学生になったら…、社会に出たら…等、現在の社会で一人一人が成長し自立していく想定の中、様々な指導を行って来ましたが、現状の社会状況に適応する力を育てようとして来たとも言えます。しかし今後は、現状に適応する力を育てながらも、子供たちが自ら未来に適応する(創り出す)力も育てていく必要が高まります。これは、AIとの共存やスマート社会での対応といった「How To」に留まらず、変化に対応しながら周囲と協働することで困難を乗り越え、生きてゆく術を学んでいくということです。社会が変化するスピードが加速度的に増していく中で、学校の存在意義を問う声も聞こえてきます。教育活動として続けていくべきことと、新たな挑戦や改善によって変更することを整理する段階に来ていることを実感します。

文部科学省が示す「学校は社会への準備段階であり、子供・教職員・保護者・地域で構成される一つの社会」という特性から、「様々な人と関わりながら学び、家庭以外で自分の存在が認められることや、自分の活動によって何かを変えたり、社会をよりよくできる実感をもったりすることで、持続可能な社会づくりを担う意識や積極性をもった子供を育成する場」としての役割が学校にはあります。松仙小学校は子供たちと教職員が共にチャレンジし、教育活動(価値)を創り出す場で有り続けたいと強く思います。子供に学ばせること、子供と学ぶこと、子供に学ぶことを大切にしながら。

みなさんは、未来人である子供たちに、どんなメッセージを伝えたいですか。

今できることの中からたくさん学びを

5年3組担任

5年生は、9月11日（木）にJFEスチール東日本製鉄所と東扇島中公園へ社会科見学に行きました。感染症予防対策として、バスに乗る前には手洗いや消毒を必ず行うこと、バスの中ではマスク着用・私語禁止、見学中にはバスの窓を開けて換気をすること、昼食前には石けんで必ず手を洗うことを徹底して実施しました。

JFEスチール東日本製鉄所では、鉄の製造方法を始め、工場やそこで働く人たちの工夫・努力などについて、実際に工場内を見て回ったり、映像を見たりして学びました。出来立ての鉄である銑鉄が流れ出るところを見たときには、歓声が上がりました。

雨の心配もありましたが、どうにか天気ももち、東扇島中公園でお弁当を食べ、その後、クラス遊びなど自由時間を満喫することができました。

本年度は例年に比べて行事が少なく、さらにできることにも制限が多く、今回の社会科見学が唯一の校外学習となります。しかし、今後もできる範囲の中で楽しみを見付けながら、一つひとつの学習の機会を大切に、大きく成長できるように指導を続けていきたいと思えます。

たてわり班活動

特別活動部 3年2組担任

今年度は、感染症拡大防止対策として「三密」を避けるため、学年ごとに分散移動を行いながら、月に1回、土曜授業の1時間を活動の時間にあてて実施します。

2学期までは6年生が、3学期からは5年生が中心に遊びを企画します。1年生から6年生まで異なる学年の子供たちが一緒に遊びを楽しむことで、集団で協力すること、下級生のために行動することのよさや大切さなどを学ぶ機会にしたいと思えます。

10月17日（土）に、今年度1回目となるたてわり班活動を行いました。今回は、4月に行えなかった1年生を迎える会の意味合いも込め、各班で1年生を迎える気持ちを大事にして活動しました。普段あまり関わらない学年の子供が集まることで、始めほどの学年も緊張していました。そんな中、6年生が頼もしく全体を引っ張ってくれ、遊びが進むにつれ、どの子にも笑顔が広がり、あっという間の楽しい1時間が過ぎました。

今後も感染症への対策を講じながら、子供たちの「楽しかった！」がたくさん生まれる活動を目指します。

11月～12月上旬の行事予定

日	曜	行事等	放
1	日		
2	月	放送昼会	×
3	火	文化の日	
4	水	特別時程 社会科見学 6(1・4組)	×
5	木	4時間授業 就学時健診	×
6	金	社会科見学 6(2・3組)	
7	土	東京都教育の日	
8	日		
9	月	放送昼会 自転車教室 3	×
10	火	クラブ④ 安全指導	×
11	水	特別時程	×
12	木	内科検診 45 耳鼻科検診 23	×
13	金	避難訓練(地震・起震車 4)	×
14	土	土曜3時間授業(火12) 縦割り班活動(11月)	×
15	日		
16	月	放送昼会 指導室訪問	×
17	火	クラブ⑤(3年見学)	×
18	水	特別時程	×
19	木	特別時程 内科検診 16 耳鼻科検診 45	×
20	金	セーフティ教室	×
21	土		
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火	放送昼会(図書委員会発表) クラブ⑥(最終)	×
25	水	4時間授業 薬物乱用防止教室(6)	×
26	木	内科検診 23	×
27	金	縦割り班計画 6	×
28	土		
29	日		
30	月	放送昼会	×
1	火	委員会(12月) 火曜5時間授業始 1	×
2	水	4時間授業 校内研究授業(4-4)	×
3	木	4時間授業 個人面談① ブラッシング指導 1(午前)	×
4	金	4時間授業 個人面談②	×
5	土		
6	日		
7	月	4時間授業 個人面談③ 生命尊重週間始	×
8	火	4時間授業 個人面談④ 避難訓練(火災・煙体験 135)	×
9	水	4時間授業 個人面談⑤	×
10	木	安全指導	×

※○印の日は放課後遊びあり

【見方】

- 半角数字は学年（例：遠足 4 = 4年生の遠足）
- hは実施の時間（例：1h = 1時間目）
- ○数字は回数（例：クラブ① = クラブ1回目）